

『越後獅子と角兵衛獅子』サイト



南区観光協会 > 越後獅子と角兵衛獅子

市山流 越後獅子

文化8年(1811)江戸中村座で三代目中村歌右衛門が踊った「遅桜手爾葉七字(おそざくらてにはのななもじ)」の七変化のひとつで、先に市村座七変化を踊ったライバルの三代目 坂東三津五郎に負けじと一夜で曲と振りを作ったといわれ、その振付が市山流初代市山七十郎でした。月潟村の角兵衛獅子を舞踊化したもので、市山流では後半に一本歯で長いサラシを振ります。



平成 30 年 2 月 17 日 市山会 舞踊公演より

月潟地区 角兵衛獅子

月潟では、獅子舞は古くから村の神事として伝えられてきました。それは神社の祭りなどだけでなく、組をつくって出稼ぎの旅に出るようになりました。獅子舞はいろいろな呼び名がありましたが、月潟の獅子舞は、京都や大阪では越後獅子、江戸では角兵衛獅子、新潟では蒲原獅子や月潟獅子などと呼ばれていました。



平成 9 年 3 月発行 郷土芸能 角兵衛獅子より

<http://www.shironekankou.jp/shishi/>

